



# LEICA SL3-S

FIRMWARE UPDATE 2.1.0

## NEW

### Leica Content Credentials:

コンテンツ認証情報が画像に記載できるようになりました  
(Leica Content Credentials)

### ジョイスティック

初期設定の変更 **Q** から **STD** 表示に (フィルムモード/Leica Look)

### AFモード:

**AF-ON** のAFモードに連動して、人認識と動物認識も選択できるようになりました。

## ファームウェア アップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることが可能です。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

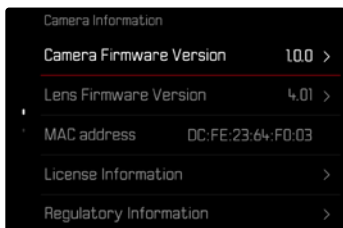
最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。また、アプリ「Leica FOTOS」のユーザーは、ファームウェアのアップデート情報をアプリ内で自動的に受け取ることができます。

ファームウェアのアップデートは以下の方法で行うことができます。

- 楽にアプリ「Leica FOTOS」から
- カメラメニューから

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

- メインメニューでカメラ情報を選択する。
  - 現在のファームウェアバージョンが表示されます。



ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録について詳しくは、以下のサイトからご覧いただけます。

<https://club.leica-camera.com>

## ファームウェアをアップデートする

ファームウェア アップデートを中断すると、カメラに重大かつ修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ファームウェアのアップデート中には以下の事項を順守してください。

- カメラの電源を切らない。
- メモリーカードを取り出さない。
- バッテリーを取り出さない。
- レンズを取り外さない。

### メモ

- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- **カメラ情報**のサブメニューにて国別に承認登録マークや番号を確認することができます。

## 使用前の準備

- バッテリーを満充電し、カメラに入れる。
- メモリーカードに他のファームウェアが保存されている場合は、必要のないものを消去する。
  - メモリカードに保存されているすべての画像をバックアップしてから、カメラでフォーマットすることをお勧めします。  
(注意：データ消失!フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。)
- 最新のファームウェアをダウンロードする。
- メモリーカードに保存する。
  - ファームウェアファイルは必ずメモリーカード最上位階層に保存してください。下位階層では読み込みができません。
- メモリーカードをカメラに挿入する。
- カメラの電源を入れる。

## 専用アプリ「Leica FOTOS」から

アプリ「Leica FOTOS」のホーム画面にてカメラのファームウェア・アップデート情報を受け取ることができます。

→ アプリ「Leica FOTOS」の指示に従う。

### メモ

- カメラのファームウェアアップデート機能はアプリ「Leica FOTOS」のバージョン4.8.0以降のものが必要です。
- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。

## カメラメニューから

→ 準備する。

→ メインメニューで**カメラ情報**を選択する。

→ **Camera Firmware Version**を選択する。

→ **アップデートを開始**を選択する。

- アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。

→ バージョン情報を確認する。

→ **はい**を選択する。

- **プロフィール情報をSDカードに記録しますか?**というメッセージが表示されます。

→ **はい**または**いいえ**を選択する。

- アップデートが自動的に開始します。
- 処理中は、LEDランプ（下）が点滅します。
- 正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。

→ カメラの電源を入れなおす。

### メモ

- 再起動後には、日付、時刻、言語を再設定する必要があります。確認メッセージが表示されず。

## レンズのファームウェアをアップデートする

ファームウェアのアップデートは、ライカSLレンズだけでなく、Lマウントアライアンスのすべてのレンズに行うことができます。

通常、カメラの最新バージョンのファームウェアとともにレンズ ファームウェアも同時にインストールされるため、手動で行う必要はありません。ファームウェアのアップデート中に装着されているSLレンズのファームウェアが自動的にアップデートされます。レンズを交換した際にアップデートが必要な場合は、カメラにメッセージが表示されます。

カメラのファームウェアアップデートに関する注意事項は、このファームウェアアップデート時にも適用されます。

- 準備する。
- メインメニューでカメラ情報を選択する。
- Lens Firmware Versionを選択する。
- アップデートを開始を選択する。
  - アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
- バージョン情報を確認する。
- はいを選択する。
  - アップデートが自動的に開始します。
  - 処理中は、LEDランプ（下）が点滅します。
  - 正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
- カメラの電源を入れなおす。

## コンテンツ認証情報 (LEICA CONTENT CREDENTIALS)

この署名機能をオンにすると、撮影者に関する情報と、撮影に使用されたC2PA規格に基づくカメラ固有の詳細情報を画像に記載することができます。

これらの情報は、画像が共有または公開されたときに、視聴者に有用な帰属情報を提供します。署名付きの画像には、アイコンが表示されます。



- メインメニューで **カメラ情報** を選択する。
- **Leica Content Credentials** を選択する。
- サブメニューの **Leica Content Credentials** で機能をオンにする (オン)。
- サブメニューで **著作権** または **撮影者** を選択する。
  - キーパッドが表示されます。
- 希望する情報を入力する。
- 確定する。

### 免責事項

「コンテンツ認証情報」は、画像の内容や変更等の追跡を可能にします。ただし当社「ライカカメラAG」は、改ざんや誤用に関して一切の責任を負わず、「コンテンツ認証情報」の特定の目的への使用についても一切の保証を行いません。

### メモ

- ドライブモードを **連続撮影** と **インターバル撮影** に設定中にはカメラがセキュリティ上の理由により大量のデータを処理できないため、**Leica Content Credentials** 機能は自動的にオフになり、使用できません。 **1コマ**、**Multi-Shot**、**オートブラケット** 撮影時にのみ、使用できます。